

DATA FILE



斜方晶系

名 前	ANDALUSITE (アンダルサイト) / 紅柱石
化学組成	Al_2SiO_5
色	ピンク色、赤色、茶色、灰色、緑色など
光 沢	ガラス光沢
蛍 光	黄色がかった緑色
条 痕	白色
劈 開	なし
断 口	一方向に完全
硬 度	7.5
比 重	3.16 ~ 3.2

こう ちゅう せき

紅柱石

ANDALUSITE

スペイン南部のアンダルシア地方で最初に発見されたため、アンダルサイトという鉱物名がつけられた。一方、紅柱石という和名は、赤くて柱のような結晶をしていることに由来している。

結晶の表面に雲母ができていたり、石英や電気石、コランダムと一緒に出てくこともある。

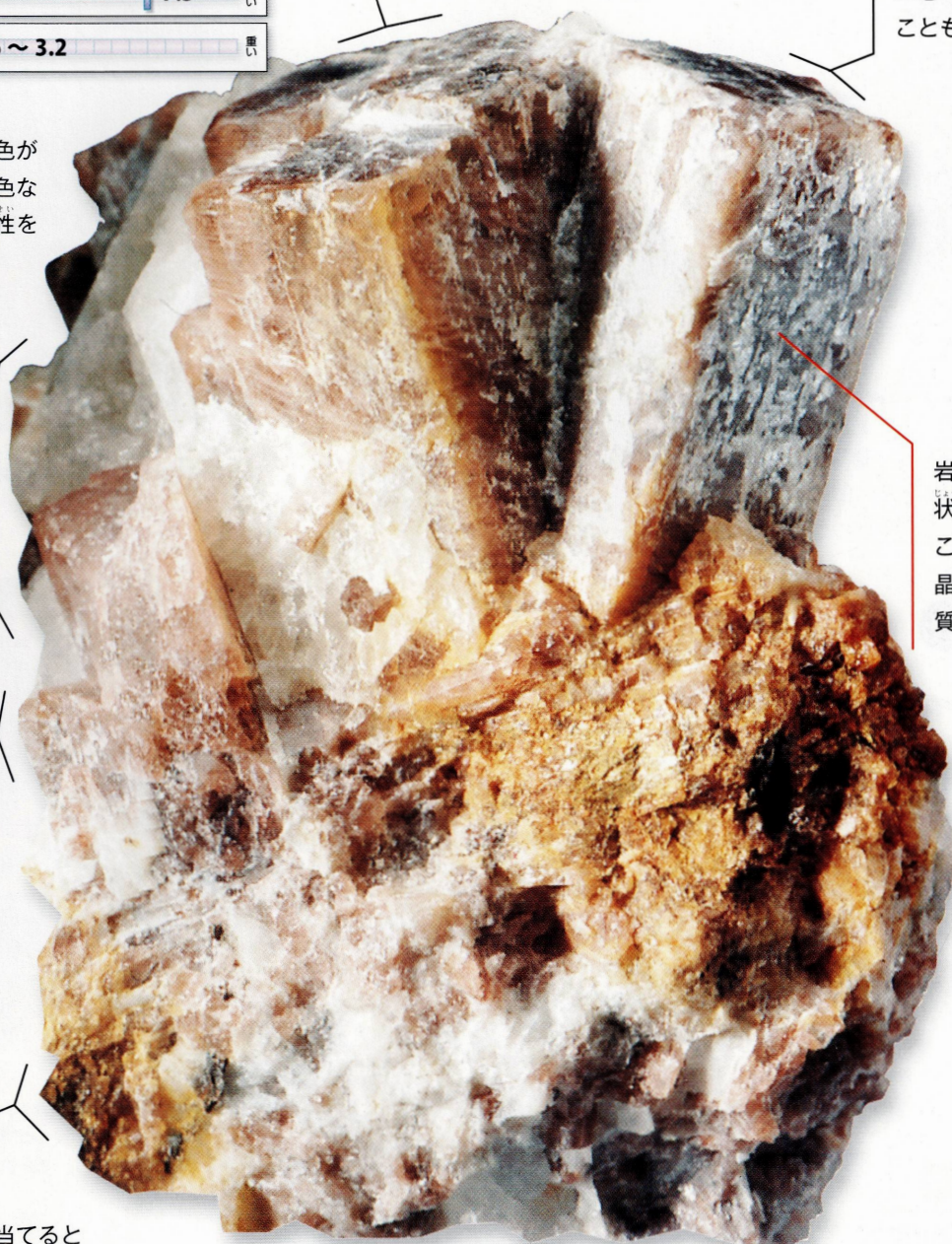
光の当たり方によって、色が緑からピンク、赤色、茶色などに変わって見える多色性をもつ。

硬度は7.5と石英よりかたく、ガラスのような光沢が見られる。

イタリアで産出した紅柱石。

ブラックライトを当てると黄色がかった緑色の蛍光があらわれる。

岩石の中に四角い柱状の結晶で見つかることが多く、この結晶ははがれやすい性質がある。



コ 紅柱石

魔よけのお守り

熱に強い性質をもつ紅柱石は、耐火用のセラミクス原料として利用されている。また、紅柱石の仲間にチアストライトという珍しい鉱物がある。この結晶を薄くスライスすると、黒い十字架のような模様が見えることから、魔よけのお守りとして使われていた。



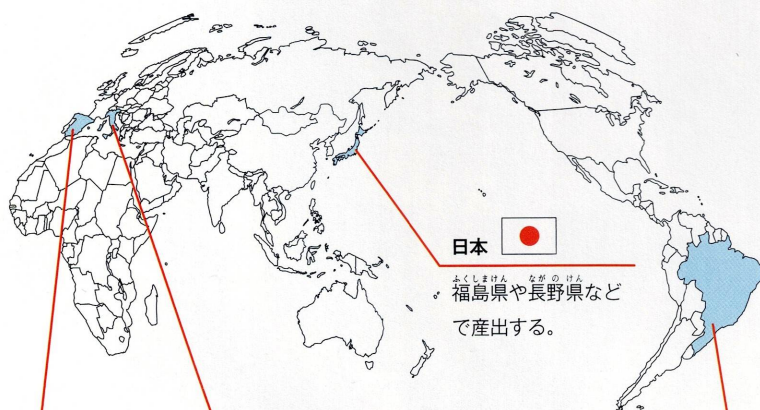
◀ カットिंगがほどこされたブラジル産の紅柱石。

▶ ドロップ型にカットされた紅柱石。



▲ 石英に含まれている紅柱石の結晶。北イタリア産。

主な産地



スペイン



最初に紅柱石が発見された。

イタリア



北部を中心に産出する。

日本



福島県や長野県などで産出する。

ブラジル



紅柱石の産出量が多い。



▲ カットされた紅柱石。中に含まれる黒い石炭がはっきり見える。